

第26回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

感染予防対策ガイドライン

2022年3月26日(土)～28日(月)に開催されます、表記大会につきまして、可能な限りの新型コロナウイルス感染対策を行った上で協会理念でもあります、「スカッシュからクラスターを発生させない」を厳守するべく運営を致します。

参加選手及び帯同者の方々におかれましては下記の内容にご協力いただけますようお願い申し上げます。

●風邪、発熱、咳の症状、体調不良の方はご自身の判断で欠席してください。

※参加選手、来場予定者全員は事前に検温を14日前より実施していただきます。

※来場時にも全員、検温、消毒を実施します。

37.5度以上の発熱がある方は参加をお断りいたします。

●2回以上、ワクチン接種がお済の方は記録の提示が出来るようご準備下さい。

(予防接種済証明書か接種記録書のコピーもしくはデジタル庁より配信されています新型コロナワクチン接種証明書アプリ「<https://www.digital.go.jp/policies/posts/vaccinecert>」の提示を可とします。

お済でない方は大会当日指定抗原検査キットを各自でご用意いただき入館前に検査をお願いします。

陰性の場合入館可能とさせていただきます。

●会場内全員マスクを持参の上、館内プレー時以外では必ず着用します。

●会場内は大会関係者のみ立入り可です。

1人の選手につき1人までの帯同を許可します。(試合時間中のみ)

エントリー時に帯同者の申請も合わせてお願いいたします。

コーチの方はその数に含みません。

入館者数の制限はさせていただきます。 終えたら早めに退館していただきます。

試合開始45分前受付開始、退館は試合終了30分以内と致します。帯同者の方もご一緒をお願いします。

●館内食事はご遠慮ください。(指定の場所のみ可)

●他の選手及びスタッフとの濃厚接触(2メートル以内)を可能な限り避け会話も必要最低限とします。

●開会式は行いません。表彰式は各表彰対象試合終了直後に行います。全体集合での形式は無くします。

●その他、こまめな手洗い、うがい、などの感染拡大防止のために出来ることを行っていきます。

●試合終了時の握手は無くし、ラケットでのハイタッチ式にします。

●コート内にマイタオル置き箱を設置しその中にタオルを置き、試合中、なるべく汗をかいたらこまめに拭くようにします。また試合毎にその箱も除菌します。壁で汗を拭く行為はしないようにお願いします。

●審判は選手が行わず、大会スタッフが全て行います。

●館内の換気については入口、コート後方窓、4番コート脇の扉をこまめに開けて空気の入替を行います。

●会場出入口の進行通路を明記しますので少しでも人との接触が無いようにご協力下さい。

●選手の荷物はコート前にて試合時間中は個人で管理してもらいます。

●試合が近くなった選手は2階やコートサイドのウォームアップエリアで密回避に努めてください。

●床の汗はコート管理スタッフがすべてモップで拭くようにします。

●試合にエントリーされた方は大会当日までにできるだけ感染予防対策を意識した生活を送っていただくようお願い致します。

●応援時には大声を出さないように協力いただきます。

●ご自身の外履きはご自身で管理していただきます。

●タオルの共用はしない。Printed by BoltPDF (c) NCH Software. Free for non-commercial use only.

- 飲み切れなかったドリンク等を指定場所以外 に捨てないでください。
- 上記の感染予防対策にご協力いただけない選手は試合への参加を中止とします。
また、観戦者の方は退館をしていただきます。
- 大会終了後 2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、またその疑いが生じた場合はスカッシュ協会へ連絡をお願いします。
- 新型コロナウイルスの感染状況や日本政府の対応、社会情勢により大会を延期、もしくは中止せざるを得ない場合があることを予めご認識頂けますようお願い申し上げます。